

2025年度大私教冬の教研集会にご参加を！

異常な物価高騰と上がらぬ賃金、関税強化とトランプからの年間21兆円に及ぶ軍事費の増額要求。国民生活の不安が高まる中で、差別と分断をあおる排外主義を公然と叫ぶ政治勢力が台頭し、それを加速しようとする高市自維反動連立政権の樹立。こうした社会背景のもとで、子どもたちの生きづらさは募り、35万人の不登校をはじめ、いじめ、校内暴力は増加し続けています。

戦後80年に迎えた戦争か平和かの歴史的岐路で、私たちは教室で生徒たちと何を学び、語り合うのか。今年の冬の教研には、大阪府内の中学校で社会科教師として歴史教育を通じて平和の大切さを伝え、杉田水脈や吉村洋文大阪市長（当時）と対峙してきた平井美津子さんをお招きします。公教育への不当な介入と破壊の攻撃に抗して闘い続けてきた自らの実践と闘いの足跡、生徒たちへの思いなどを語っていただきます。

会場は「人の命を大切にし、平和で民主的な社会の実現を願って、誠実に生き、一生懸命努力する人間を育てる」ことを教育理念に掲げる大阪暁光高校。戦後80年に取り組んだ平和への取り組みの報告、また今年秋の文化祭で好評を博した生徒、市民、教職員による合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」を披露していただきます。

記念講演

「公教育破壊の時代に抗して ～戦後80年に、自由と民主主義の砦としての学校、教室をどう作るか」（仮題）

講師 平井美津子さん（大阪府公立中学校教諭、立命館大学非常勤講師）

大阪歴史教育者協議会常任委員、子どもと教科書大阪ネット21事務局長。専門研究は、アジア太平洋戦争下における日本軍「慰安婦」、沖縄戦研究。『「慰安婦」問題を子どもにどう教えるか』、『近現代史を子どもにどう教えるか』（共著）、『わたしのからだはわたしのもの』（すべて高文研）など、著書多数。映画『教育と愛国』に出演。



記念行事 「ぞうれっしゃがやってきた」合唱 千代田学園ぞうれっしゃ合唱団（仮称）

日時 2025年12月20日（土）14時30分開会

14時30分～15時10分 開会全体会 学校長挨拶 委員長挨拶 記念行事 全私教共済案内

15時20分～16時50分 記念講演

17時00分～18時50分 分科会（各分科会レポート2本）

19時00分～20時30分 交流会 終わりのつどい（「むすび合う」夕食大交流会）

会場 大阪暁光高校 全体会・記念講演・分科会・終わりの会

（河内長野市楠町1090 南海高野線難波から千代田まで約30分 西出口から徒歩8分）

参加費 参加のみ1000円（資料代・夕食交流会込み） ➡申込みはQRコードから

※保育希望の方は子ども保険500円が別途必要です

※分科会は各校からのレポート報告をうけ、討議し、その成果と課題を学び合います。「職場の要求と組合活動」「HR・行事づくり」「授業づくり」「生徒の自主活動」「性教育を考える」など

※梅書房による政治や社会、民主主義、ケア、ジェンダー、民主主義、教育関係などの書籍や絵本などの販売があります。

